

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/後学期/後学期 : /Second term/Second term
分類/Category	//工芸科学教養科目 : //Science and Technology Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/火1:/Tue.1

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10121511			
科目番号 /Course Number	10160180			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	京都の文化と文化財 : Culture and Heritage in Kyoto			
担当教員名 / Instructor(s)	/(宗田 好史)/澤田 美恵子/他 : MUNETA Yoshifumi/SAWADA Mieko/etc./			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	重要無形文化財「能楽シテ方」保持者(人間国宝)金剛流二十六世宗家金剛永謹氏、登録無形文化財「京料理」料亭主人の田村圭吾氏をはじめ、茶道や華道、伝統工芸の分野で創作活動をされる方々、文化庁と京都府で文化財保護に従事する専門家をゲストスピーカーに招聘し、文化と文化財の本質に触れる講義を行っている。	
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	<p>京都には、長い歴史と自然との共生、内外との交流により、日本を代表する文化が形成されるとともに、優れた芸術や伝統工芸、伝統産業が生み出され、今も世界中の人々を魅了しています。</p> <p>また、日本文化への世界的な関心が高まり、グローバル化が進行する中で、私たち日本人自身が自らのアイデンティティとなる日本文化の考え方や価値を十分理解することを求められています。</p> <p>本授業では、京都の文化財や伝統文化、食文化、伝統芸能、伝統工芸・伝統産業に携わる方々をゲストスピーカーとして招き、その根底に息づく人を思いやり尊重する心と自</p>
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	

英	
---	--

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第 1 回	ガイダンス：講義目的と内容の説明
	英		
2	日	第 2 回	文化財①：京都の文化財の歴史、文化財指定等の状況、保存修理の課題（京都府文化財保護課・美術工芸、民俗・無形文化財）
	英		
3	日	第 3 回	文化財②：京都の文化財の紹介、保存修理の現状と課題（仏像、工芸品、絵画など、京都府文化財保護課記念物係）
	英		
4	日	第 4 回	文化財③：京都の文化財の紹介、保存修理の現状と課題（建造物・庭園・史跡など、京都府文化財保護課建造物係）
	英		
5	日	第 5 回	文化財④新しい文化施策、文化財の体系、制度概要、文化財の保存と活用の取組みなど（文化庁地域文化創生本部）
	英		
6	日	第 6 回	伝統工芸・伝統産業①：和傘
	英		
7	日	第 7 回	伝統文化①：茶道
	英		
8	日	第 8 回	伝統工芸・伝統産業②：樂焼
	英		
9	日	第 9 回	伝統文化②：華道
	英		
10	日	第 10 回	伝統文化③：香道
	英		
11	日	第 11 回	伝統文化④：能・狂言
	英		
12	日	第 12 回	和食①：京料理（料亭）西陣・萬重の食文化
	英		
13	日	第 13 回	和食②：京都の食文化（商家の食生活）重文京町家杉本家とおばんざい
	英		
14	日	第 14 回	ワークショップ、三大学の皆さんがグループに分かれて伝統文化と文化財を語り合います。
	英		
15	日	第 15 回	総括：講義の振り返りとまとめ、京都の文化の未来
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	特になし
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	授業内に配布した資料や紹介した参考文献及び資料について、自身の理解度を確認して下さい。 また、授業の中で紹介する市内の美術館、博物館、公開工房等を各自訪れてレポートに書いてもらうこともあります。 本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	第2回目～第7回目の授業ではレポート課題のために、教科書は「詩とモノを創る営み—わかりえなさを抱きしめる—」澤田美恵子著（ナカニシヤ出版）を使用します。他の回では、テキストは使用せず、授業ごとに必要な資料を配布します。参考書については授業内で紹介します。
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	3名の教員がそれぞれが課したレポートを採点し、その平均点が最終評点となります。
英	

留意事項等 Point to consider	
日	<p>この授業は、オンライン講義により開講することがあります。</p> <p>その場合も、教材の学習、課題の提出、自習等を含め、単位修得に必要な学修時間を確保する計画です。ただし、状況により、対面もしくはハイブリッド授業方式に変更となることがあります。変更の際は別途通知します。</p> <p>主な予定は以下の通りです。</p> <p>授業では、京都府文化財保護課の皆さんや、その他の文化財、文化関係団体、伝統芸能・伝統工芸・伝統産業に関わる皆さんをお招きします。講師の先生方のご都合により、順番が前後し、内容もご都合で少し変わる場合があります。</p>
英	